



いわき市 防災講座

～今災害が起きたら、
あなたは何かできますか？
備えよう、今すぐに～



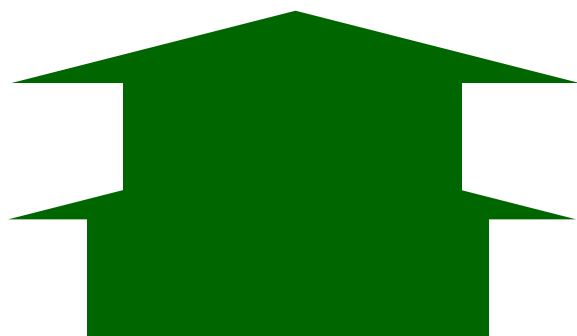
いわき市 防災講座 第1回 避難行動について

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスクととるべき行動について、
確認してみましょう。

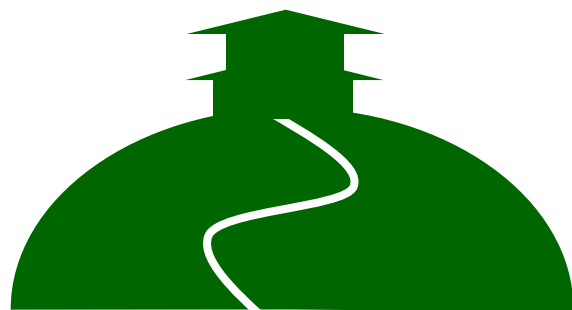


「避難」とは、「難」を「避」けることです。

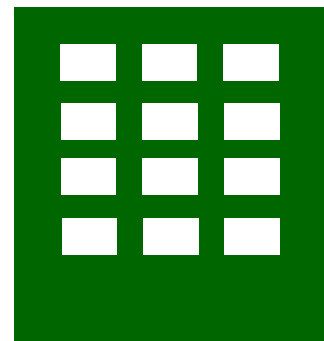
- 安全な場所にいる人は、必ずしも指定避難所に行く必要はありません。
- 安全な親戚・知人宅に避難することも考えて見ましょう。



自宅



親戚・知人



ホテルなど



避難所





台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取組みましょう**

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

*ハザードマップは洪水や土砂災害が発生するおそれの多い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として*、自宅の外に避難が必要です。

例外

*洪水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩壊してしまうおそれの多い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。
*土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

※状況は変更もご留意ください

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

(出典：内閣府防災ウェブサイト「避難行動判定フロー」)





1 あなたがとるべき避難行動は

台風・豪雨時に備え、「避難行動判定フロー」に従って自分がとるべき**避難行動**を確認しておきましょう





➤ どのように確認し、行動すればよいのでしょうか





避難行動フローに従って説明します。

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう





「いわき市防災マップ」は、洪水、土砂災害及び津波ハザードマップを地区ごとにまとめたものです

危険個所が色で塗り分けられた地図です。

日ごろの備えを確認しましょう!

チェックしましょう 確認できたらチェック!

- 自宅周辺の危険な箇所を確認しましたか? 住まいの安全性を確認しましたか?
- 避難所と避難経路を確認しましたか? 非常持出品を用意しましたか?
- 災害時の家族との連絡手段や避難先の確認はできていますか? 防災メールの登録をしましたか?

非常持出品、備蓄品を用意しましょう!

非常持出品は、必要最低限におさめることが大事です。持出品が着すまでとスムーズに避難できなくなります。また、乳児(乳牛や粉乳など)や、高齢者等(常備薬等)など、各家庭の事情に応じて準備してください。

必ず用意しておくもの

<p>非常持出品 災害発生時に最初に持ち出すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲料水(500mlペットボトル2本) 非常食(乾パンなど大を減らしてもいいもの) 現金(現金) 携帯電話(充電済) 貴重品(財布) 雨具など 	<p>備蓄品 避難生活が長くまでの生活をするためのもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲料水(1日5人分を目安) 保存可能な食料 乾電池(ラジオ) ウエットティッシュ タオル 毛布 工具 など
---	--

※少なくとも7日間の食料、3日間の水を用意しましょう!

時間の経過で見る生活必要物資

災害が発生

↓

被害が拡大

↓

災害が長期化

災害発生の際 安全な場所へマップに載っていた「非常持出品」を持ち出す

災害発生から数日~10日経過 自宅待機または避難所へ「備蓄品」を活用する

災害発生から10日以上経過 避難所で生活「救援物資」の支援を受ける

作成: いわき市行政経営課 危機管理課 危機管理係 TEL:0246-22-1242

印刷: 2024年4月 印刷: 2024年4月

いわき市防災マップ
 平成27年4月

— 久之浜・大久地区 —

避難所

土砂災害

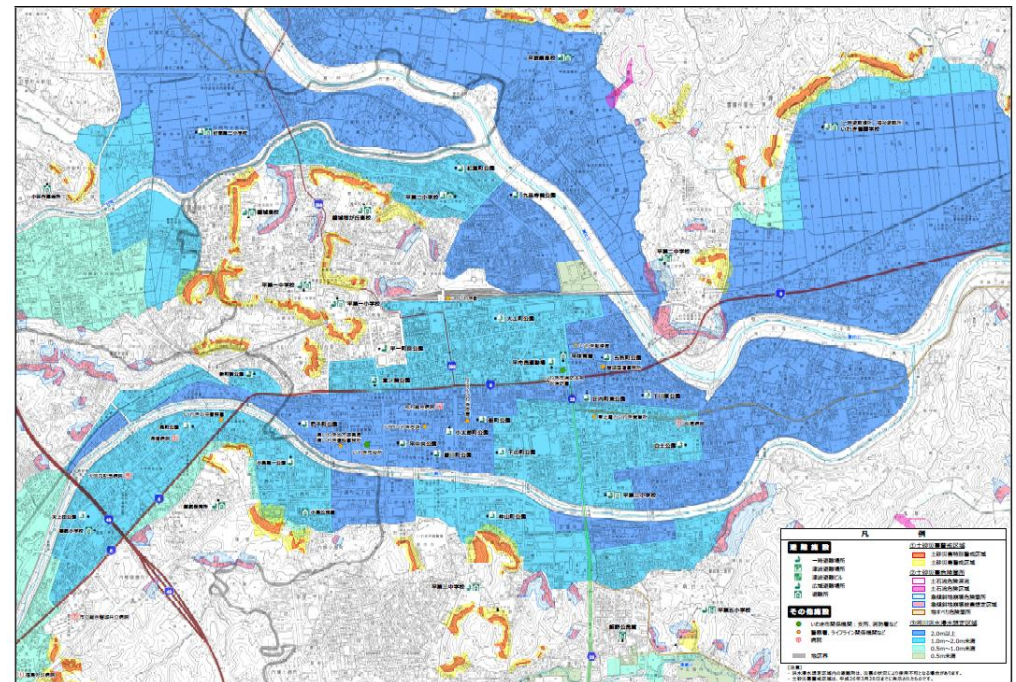
河川洪水

地震津波

このマップは、津波ハザードマップや洪水ハザードマップのほか、土砂災害警戒区域に関する情報などを地区ごとにまとめたものです。

図面を見やすいところに貼り、近所の避難所や避難経路を把握しておくなど、お住まいの周辺について情報の確認等にお役ください。

▼わが家の避難所



※お持ちでない方は、危機管理課及び各支所で受け取るか、市のホームページでご確認ください。





➤ 防災マップに印をつけた後は、どのように確認しますか

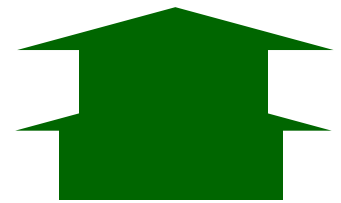




家がある場所に色が塗られていない 場合

自宅避難が可能とされますが、**周囲を確認**し、周りと比べ低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、避難情報を参考に必要に応じて避難してください

※**自宅避難の注意事項**は、後ほど説明



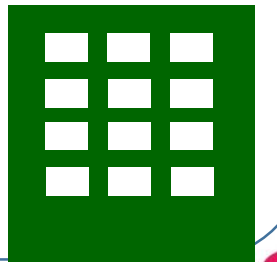


家がある場所に色が塗られている場合

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です

例外

浸水及び土砂災害の危険があっても、浸水する深さよりも高い、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は、**自宅に留まり安全確保**（自宅避難）をすることも可能ですが、できるだけ崖から離れた部屋に避難しましょう。





自宅避難の注意事項

浸水被害などが発生すると、自宅から出られない、断水、停電、買い物ができないなどの障害が発生します。自宅避難の場合は、水・食糧など十分な備えをし、自宅に留まり、安全を確保しましょう。





自宅の外に避難が必要な場合(パターン1) (避難に時間がかかる)

ご自身が高齢者等または一緒に避難する人が高齢者等であり、
避難に時間がかかる

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる？

いる

警戒レベル3 (避難準備・高齢者等避難開始) が出たら、親戚や知人宅に避難しましょう (日頃から相談しておきましょう)



いない

警戒レベル3 (避難準備・高齢者等避難開始) が出たら、指定避難所に避難しましょう





自宅の外に避難が必要な場合(パターン2) (避難に時間がかからない)

ご自身が高齢者等または一緒に避難する人が高齢者等ではなく、
避難に時間がかからない

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる？

いる

いない

警戒レベル4 (避難勧告) が出たら、
親戚や知人宅に避難しましょう (日頃
から相談しておきましょう)



警戒レベル4 (避難勧告) が出たら、
指定避難所に避難しましょう



× 「避難指示 (緊急) が出るまで待とう」は間違い！
○ 「避難勧告」が避難の最終タイミング！





警戒レベルについて

警戒レベル	気象状況	気象情報 (警戒レベル 相当情報)	市の発令	市民の行動
レベル 1	大雨の数日 ～約 1 日前		・心構えを高める ・各部署の連絡体制 の確認など	災害の心構えを高める
レベル 2	大雨の半日 ～数時間前	各注意報など	避難準備・高齢者等 避難開始の発令準備	ハザードマップ等で避難行動 を確認
レベル 3	大雨の数時 間～2 時間 程度前	大雨警報 洪水警報 など	避難準備・高齢者等 避難開始	・高齢者等は速やかに避難 ・避難準備が整い次第、避難 開始
レベル 4		土砂災害警戒 情報など	避難勧告 ※場合により 避難指示（緊急）	速やかに避難 ※避難指示（緊急）前には、 避難完了しておく
レベル 5	数十年に一 度	大雨特別警報 など	災害発生情報	命を守るための最善の行動を とる





2 事前に行っておくべきこと

今のうちに、「**家族防災会議**」を行い、自分や家族の避難経路の確認、避難時の持ち出し品、自宅での備蓄などを確認しておきましょう





➤ **家族防災会議とは、どのようなものですか**





家族防災会議は、災害が起きる前に、家族がどのような行動をとるか事前に話しあっておくものです

例としては次のようなものがあります

- 指定避難所及び避難経路の確認 (平常時に実際に歩いて確かめる)
※降雨時の移動は危険が伴います。増水などを考慮した早めの避難が必要です
- 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人への相談
- 避難するタイミング
- 連絡を取る方法（「災害伝言ダイヤル」等を活用しましょう）
- 非常用持出品の確認
- 自宅の備蓄（孤立に備えた食料、水など）
- 役割分担





最後に、いわき市からお願いがあります。

いわき市防災メール配信サービスのご案内

～市民のみなさまへ～

9年前の東日本大震災、そして昨年令和元年東日本台風と、これまで私たちが経験したことのない大規模な災害が発生しております。

今後、市民のみなさまの生命や財産を守るためには、正確な情報を即時に受け取り、的確な行動をとることが最も重要です。

防災メールに登録すれば、お手持ちの携帯電話やスマートフォンに、市から発信される様々な情報が、即座に届きます。

**あなたの命、大切な人の命を守るため、
防災メールへの登録をお願いします！**





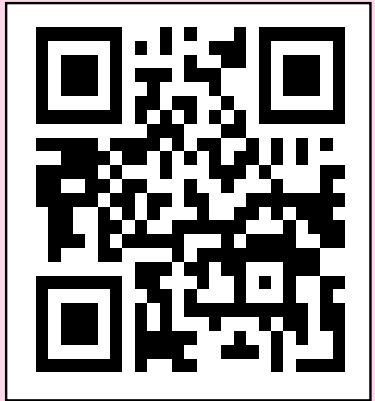
いわき市から防災・災害情報を Eメールでお知らせします。

パソコン・スマートフォンから登録

- ①いわき市ホームページにアクセス
- ②「防災情報サイト」をクリック
- ③「もしもの時に備えて」をクリック
- ④「いわき市防災メール配信サービスのご案内」をクリックし、「登録(外部リンク)」をクリック
- ⑤「メール配信申込み」をクリック
- ⑥「メールアドレスを登録」または「空メールを送る」

携帯電話・スマートフォンから登録

- ①右のQRコードを読み取り
iwaki@entry.mail-dpt.jp
へ空メールを送信
- ②確認用(仮登録)のメール
が届きますので、メール本文
から登録画面へ



迷惑メール対策をされている方は、仮登録メールが届かない可能性がありますので、空メールを送る前に次の設定をお願いいたします。

● 「iwaki-bousai@city.iwaki.fukushima.jp」から、メールを受信出来るように設定してください。

【注意】 迷惑メール設定方法については、各携帯電話会社などにお問い合わせください。



A tall, white, tapered tower with a glass-enclosed top section, set against a clear blue sky. In the foreground, there are numerous cherry blossom trees in full bloom, their pink and white flowers creating a soft, textured layer. The overall scene is bright and clear, suggesting a sunny day in spring.

いわき市 防災講座 第1回 避難行動について

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスクととるべき行動について、
確認してみましょう。

おしまい

制作 : いわき市総合政策部 危機管理課
連絡先 : 0246-22-1242又は0246-22-7551
Mail : kikikanri@city.iwaki.lg.jp